

家族の動きが いつでも把握できると 子どもものの居場所に 必ずママの居場所を確保

藤田邸(東京都大田区)

飲料メーカーでデザイン制作部門のチームリーダーを務める藤田さん。仕事が多忙で育児時間が思うように取れないこともしばしば。ご主人の出張が多いこともあり、長男の小学校入学とともに家庭に入ることも考えていたそう。しかし、職場の育児環境が徐々に改善されていったことで続けた気持ちも強くなり、実家のご両親との二世帯住宅を建てることに。第二子の妊娠・育児休暇中に建てた家は、子ども2人との生活をイメージし、短い育児時間の中でいかに密に関わるかがよく考えられています。藤田さんが特にこだわったのはキッチン。「私が家でいちばん多くの時間を過ごすのはキッチン。男の子2人なので、成長後のことを考えても、食がコミュニケーションの要になると考え、家の中心に据えました」。建築家・堀内雪さんの女性ならではの細やかな心配りもあり、家族がいつもそばに感じられる明るく開放的な家が完成しました。

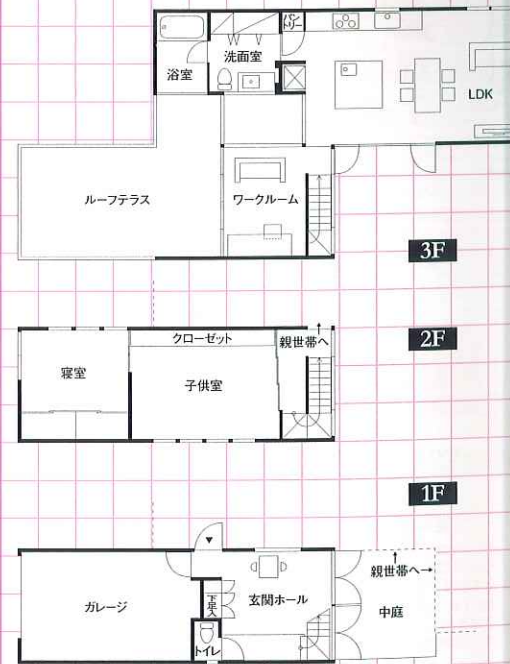


1 LDKと同じフロアにあるワークルーム。LDKとは大きな窓で囲まれた中庭の吹き抜けを介して一体感があります。



2 ワークルーム横には大きなテラスが。浴室とも窓で繋がっているため、夏場はここでプール遊びした後お風呂へ直行できます。

藤田邸 図面



過ごす工夫でいっぱい 子育てハウス

増えています。そこで起こるのが、子どもと過ごせる時間が十分に取れないという悩み。家族の絆を深めるための工夫を凝らした、働くママのお宅にお邪魔しました。

http://www.iesapo.jp, 設計・スタジオCY(堀内 雪) http://www.studiocy.com, [清水邸] ウィークエンドホームズ社
ネット・OZONE家づくりサポート http://www.iesapo.jp, 設計・APOLLO一級建築士事務所(黒崎 敏) http://www.kurosakisatoshi.com



子育てハウスのポイント

帰宅が遅い日も子どもが安心して過ごせる工夫

上・夜遅くに帰宅しても必ず子どもの寝顔が見られるよう、夫婦の寝室は子供室の奥に。
左・また子供室は引き戸を開け放せばご両親のLDとひと続きの空間に。留守中も安心です。



3 洗面室に洗濯機を置き家事動線も効率化。
4 キッチン脇のバスルーム。子どもたちがお風呂に入っている様子をキッチンから把握できます。浴室の大きな窓はテラスに繋がって回遊できる作り。



子育てハウスのポイント

1

キッチンから家族の様子がいつも把握できる

大きなカウンターはアメリカのブルックファーストキッチンイメージしたもの。ここから3階での子どもの動きを把握しながら、効率よく家事をこなします。同じフロアにワークルームも設けいつも一緒にいられる安心感です。



子育てハウスのポイント

多目的に使える土間が家族の交流を手助け

中庭とひと続きになる玄関の大きな土間。週末はここでパパと工作をしたり野球をして遊ぶのが子どもたちのお気に入り。ママも傍らで過ごせるようお茶を飲むスペースが。

二男はお母さまに頼み、通学路の途中まで長男と一緒に出勤。短い時間でもなるべく一緒にいられるよう時間をやりくりしています。



5 キッチンの一角にある家族のコミュニケーションボード。この日は長男からママへのメッセージが。
6 帰宅後家族が落ち着けるようLDは片づけてから出かけます。



忙しくても子どもと密に働くママの

育児休暇や時短労働などの整備に伴い、出産後も仕事を辞めずに働き続けるママが時間は短いながらも、甘え盛りの子どもと濃厚な時間を過ごすには？ 時短や

撮影/木内 海 取材・構成/豊田祐子 取材協力/[藤田邸]建築コーディネイト・OZONE家づくりサポート
http://www.weekend-homes.com、設計・田中剛建築設計室(田中 剛) http://www.tt-arch.jp、[中川邸]建築コーディネ



藤田弘枝さん
ある一日のスケジュール]

Time	スケジュール
4:45	起床
5:00~	自分の勉強時間
6:00~	朝食の支度
6:30	子どもたちを起こす
7:00~	朝食
7:30~	食事の後片づけ、部屋の片づけなど家事
8:00	登校する長男と一緒に出勤
	二男はご両親が保育園へ
9:00	出社
	オフィスワーク
17:30	退社
18:00	保育園へお迎えに
19:00	お母さまが届けてくれたおかずで夕食
19:45~	宿題を見ながら家事
21:00	子どもたち就寝
	自分の自由時間
23:00	就寝